

胎内市報酬改定事業所説明会 (令和3年度) 国の動向について



胎内市
福祉介護課 地域包括支援センター係

2040年の社会のイメージ

2035年：85歳以上の高齢者が1000万人

多様化する家族と住まい方

個人を単位とした仕組みへの再編

介護は必要なくとも、生活のちょっとした困りごとを抱える高齢者の増加

人生100年時代の到来を知り、準備できる

家族介護を期待しない
できない時代

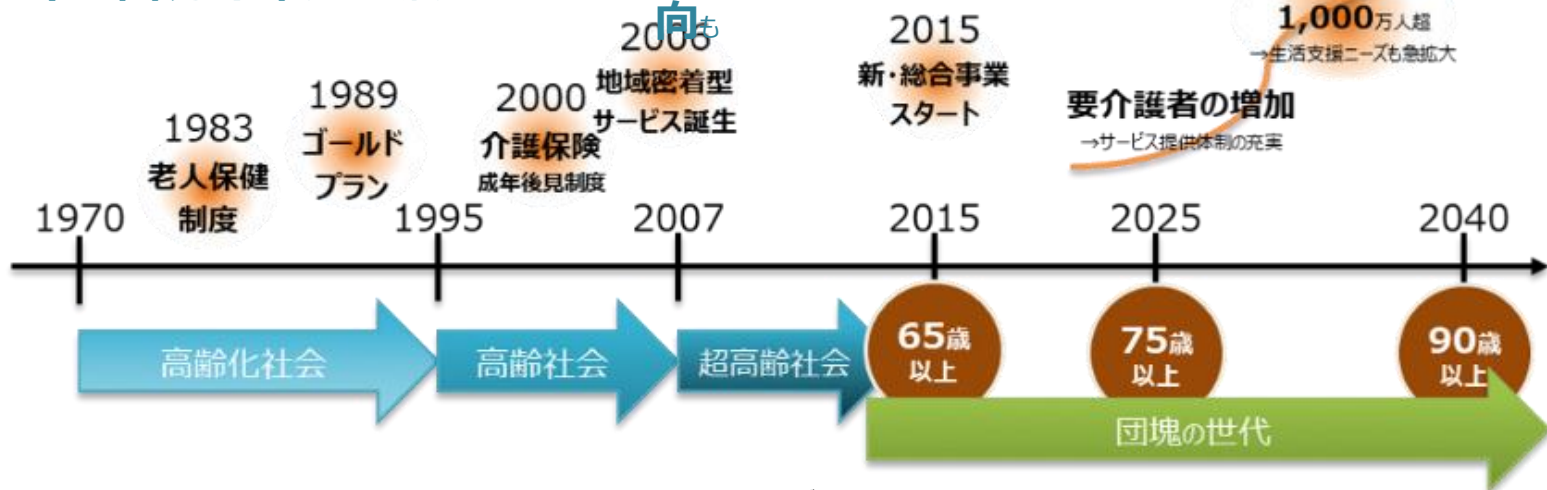
平均的な高齢者像では語れない
多様性と格差の時代

平均的な地域自治のイメージも
意味がなくなる

2040年：団塊の世代は90歳以上に

地域経営型自治を目指す方
向も

2035
85歳以上高齢者が
1,000万人超
→生活支援ニーズも急拡大



資料) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、平成30年度 老人保健健康増進等事業「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた制度やサービスについての調査研究」「地域包括ケア研究会」報告書

2024年に起こりうること

- 1 団塊世代(昭和22年から24年生まれの方)の子ども(団塊ジュニア)が65歳になる
- 2 要介護・要支援認定者の増加
- 3 介護給付費用の増加
- 4 介護保険料の負担増加
- 5 施設やサービス数の不足
- 6 介護人材の不足
- 7 病院の病床数が足らず、自宅での看取りが増える

令和3年度介護報酬の概要

1 感染症や災害への対応力強化

2 地域包括ケアシステムの推進

3 自立支援・重症化予防の取組の推進

CHASE・VISIT情報の収集・活用とPDCAサイクルの推進

4 介護人材の確保・介護現場の革新

5 制度の安定性・持続可能性の確保

科学的介護情報システム（LIFE）の 活用等について

1 リハビリテーションの提供に応じた、最適な
栄養の提供について評価

2 施設入所者の排せつ状態の改善に係る取組評価

科学的介護の対象領域は、介護給付、予防支援、介
護予防・日常生活支援総合事業等